

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 13 日 ( 14:00 ~ 15:00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	3 人	8 人	人	14 人

前回の改善計画
利用者本人の不安の背景にある、家族や周囲の困りごとを把握できるように、家族とのコミュニケーションも図る。
前回の改善計画に対する取組み結果
・ 管理者、ケアマネが中心となって家族との連携を図ることがほとんどなので、家族からの連絡は職員連絡ノートや朝礼等で全員に周知できるようにした。 ・ 送迎時や面会時に困りごとはないか時々確認する。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	8			14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	2	12	1		14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	4	10			14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	3	7	4		14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	契約前に必ず本人または家族とアセスメントを行い、本人の状態確認や本人及び家族の意向を確認している。職員全員が新規利用者の人物像を思い描けるよう、ポイントを押さえたミーティングや情報共有を行っている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ 本人と家族の意向が異なる場合、両方一緒に意向を叶えることは難しい。本人が安全に生活できることが大事なので、小規模多機能であってもどちらか一方の意向に沿えない場合がある。そういった場合、本人の不安は増し、精神的に不安定になられるので、そういった時の対応方法が未熟である。 (例) 本人は家にいたい、一人での留守番は危険との理由で家族は毎日の通いと時々泊りを希望。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・ 利用者の不安を受け止め、安心して過ごしていただくためにも、認知症ケアの勉強は繰り返し習得し、スキルアップを図っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 13 日 ( 14:00 ~ 15:00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	6 人	人	14 人

前回の改善計画
カンファレンス等では、ただその都度上がってきた問題点・課題点を解決に向けて対応方法を検討しているので、ケアプランに沿ったカンファレンスを行うようにする
前回の改善計画に対する取組み結果
・更新時や見直し時は、ケアマネの作成した小規模多機能型居宅介護計画書及び居宅サービス計画書を全職員が確認を行う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	5	5		14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	5	5		14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	5	6		14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	2	7	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・健康観察や服薬確認、保清、交流等のサービスはきちんと支援できている。 ・利用者からの声は、管理者、ケアマネ、看護師に報告し、検討課題であれば、話し合いの場を設け、試行錯誤しながら改善策を見つけだしている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・低介護度の利用者介護職員によるレクリエーションの一環として行うストレッチ体操や生活リハビリ (入浴・排泄等自分でできる部分は介助を減らす、など) でしか対応ができない。他事業所の作業療法士は、本人の希望する回数や時間帯に沿うことができない。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・リハビリやレクの勉強会や研修会の参加を促して、リハビリを兼ねた豊富なレクリエーションができるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 13 日 ( 14:00 ~ 15:00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	8 人	人	人	14 人

前回の改善計画	本人・家族から情報を得たり、自宅訪問して自宅での生活環境についての情報把握に繋げる。看護師、看護師不在時のリーダーだけでなく、誰もが体調の変化にアンテナを張れるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅での困りごと等あれば連絡ノートに記入して頂いたり、利用回数が少ない方はケアマネが自宅訪問し、様子を確認している。</li> <li>・いつもと変わったことがあれば、些細なことも報告し、全職員が異常の早期発見に努めている。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?		1	8	5	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	8			14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	5	4	3	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	8			14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	6	8			14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事形態 (普通・刻み・ミキサー) は本人の状態に合わせて提供している。糖尿病は主食やおやつ調整、心臓疾患は減塩対応している。</li> <li>・生活リハビリの一環として、入浴面・排泄面では、残存機能を生かした対応を行っている。終日オムツ着用の方も、排便時はトイレに移乗して頂く。</li> <li>・朝礼の申し送り時に検討事項あれば、話し合ってからスタートしている。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前の暮らし方について、利用開始時点では詳しく把握できていないことが多い。利用開始されてから信頼関係を築いていく中で徐々に得られていく情報もある。</li> <li>・「職員に迷惑をかけてはいけない」という思いを抱えておられる方や、認知症により、声に出すことができない方のサインを見逃してしまう。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
身体的な観察はもちろんであるが、精神面の観察力を養う。また、いろいろな疾患の初期症状や見極めのポイントなど、医療面の勉強会・研修会を行い介護職員の観察力のスキルアップを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 17 日 ( 14:00 ~ 15:00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	1 人	7 人	6 人	14 人

前回の改善計画	運営推進委員さんだけでなく、地域住民へも事業所についての情報を発信していき、もっと知って頂く。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議の情報発信のみだった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	7	2	2	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	7	3	3	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	2	2	6	4	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	7	6	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用開始までのアセスメントで、以前の生活スタイルや人間関係等は情報収集を行い共有している。利用後新たにわかる情報もある。</li><li>・面会時はゆっくりと一緒な時間を過ごして頂けるよう、居室や別スペースの確保等の配慮をしている。</li><li>・事業所の行事に家族様もご案内している。</li><li>・連絡帳に自宅での様子を詳しく書いてくださる家族様がいます。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・夜間専門介護職員体制なので、夜勤職員 (4 名) は、利用者とコミュニケーションを図る時間も限られ、また、利用者の活動的な場面を見ることが少ない。</li><li>・家での様子を時々確認しているが毎回確認していない。ただ、変わったことがあれば家での様子も関連してくるので確認している。</li><li>・地域資源について理解していない。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・全職員が地域資源についての理解を深めるため勉強会を行う。</li><li>・自宅での様子を把握し、日頃のケアに繋げていく。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 17 日 ( 14:00 ~ 15:00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	1 人	2 人	6 人	4 人	14 人

前回の改善計画	地域活動への積極的な参加、または、交流。
前回の改善計画に対する取組み結果	・参加できる行事に参加した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		5	4	5	14
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	4	1	3	14
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	3	8	1	2	14
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	4	10			14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の協力を得ながら地元の祭りに参加することができた。なかなか外出できない方もおられるので、事業所に来て出し物等をしていただいた。</li> <li>・急な利用変更（泊まり追加・緊急受け入れ）にもなるべく対応している。</li> <li>・朝礼で変化・気づきを確認してからスタートしている。その都度、話し合うこともある。</li> </ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事に外出できる方が限られた方ばかりになってしまう。寒い季節は外に出ることを敬遠されたり、車椅子を使用しておられる方を多数お連れできない。外出を好まれ、家族の協力があまり得られない方を優先的にお連れしている。</li> <li>・日々の記録がワンパターン化してきていて、サービス提供内容や活動内容はきちんと記録できているが本人のちょっとした変化の記録があまり出来ていない。</li> </ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護記録の研修を行い、記録からでも変化が読み取れる記録が出来るようになる。</li> <li>・外出支援の機会を増やす。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 17 日 ( 14:00 ~ 15:00 )

6. 連携・協働

メンバー 9 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	5 人	4 人	14 人

前回の改善計画	利用者や介護職員も運営推進会議に出席したり、各種機関・団体等の活動などに参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議に利用者は参加できなかった。 ・積極的にいろいろな活動に参加する職員がいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		8	2	4	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	2	8	14
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		5	5	4	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	2	5	6	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・①②は管理者、ケアマネが代表して出席することが多い。空き情報の交換や相談ができ他事業所との連携を図ることができている。 ・駐在所の駐在員の方に勉強会と事業所内の見学をしていただいた。 ・観賞用かぼちゃを地域の方が持ってきて下さった。また、近くにおられる家族や親戚、知人の方は、近くてよくなったと頻回に面会に来られる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・①②管理者、ケアマネが主として参加しているため、介護職員は会議についてはあまり把握していない。 ・各種イベントや活動に積極的に参加する職員に限られている。声をかければ参加する職員もいるが、全体的に消極的である。 ・家族や親戚、知人以外の地域住民との交流は、こちらから外出しないと機会がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・介護職員もいろんな活動に参加できるよう積極性を持つ。 ・地域住民が事業所に気軽に訪れるような取り組みを考える。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 30 日 ( 14:00 ~ 15:00 )

7. 運営

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	5 人	5 人	14 人

前回の改善計画	
地域と関わりあうという意識を持つ。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・外出の機会を増やした。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	1	5	4	4	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	9	1	3	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		8	2	4	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		4	5	5	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者及び家族様を対象にアンケートを実施した。結果および意見や要望をまとめ全職員に周知した。 ・運営推進会議で情報を得たり、行事があればお誘いの連絡を下さることもあるので、参加できる方をお連れすることができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者に関しての声はあがるが、運営に関しての意見は、なかなか言える場がない。 ・昨年末にアンケートを実施したので、家族からの意見をこれから反映していく。 ・「地域に必要とされる拠点」という視点で地域活動が行えていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・アンケートより「食事面での改善を期待する。(変化がないメニュー、新鮮な野菜や果物の提供が少ない)」との意見がでたので、食事面を見直していく。 ・地域住民と関わる機会を設け、地域に必要とされる拠点を指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 30 日 ( 14:00 ~ 15:00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	6 人	5 人	2 人	14 人

前回の改善計画	積極的に研修に参加し、スキルアップを図る。 伝達研修を行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	研修に参加しやすい体制づくり。(開催時間の調整)

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5	7	2		14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	6	5	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	1	1	5	7	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	7	4	2	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>参加回数は少なくとも、誰もが研修に参加することができた。</li><li>③は管理者、ケアマネが参加している。研修会やイベントがあれば、その他職員の参加を促した。</li><li>些細な事案もひやりはっとの提出を行い、再発予防に努めた。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>受験料や受験に必要な研修の受講料が負担になり、資格取得を断念する職員もいる。</li><li>ヒヤリハットの提出が自主的にできない。</li><li>地域連絡会は主として管理者、ケアマネが参加している。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>次回も誰もが積極的に研修に参加できるよう、開催時間をテーマごとに調整する。</li><li>常に危険予測を頭に置いてケアにあたる。リスクマネジメントの研修を予定に組み込む。</li><li>介護職員も参加できる内容の時の地域連絡会には参加を促す。</li></ul>	



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 1 月 30 日 ( 14:00 ~ 15:00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 10 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9 人	5 人	人	人	14 人

前回の改善計画	
身体拘束・虐待をしない。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
・見守りの徹底や対応方法の見直し ・福祉用具の活用	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	9	5			14
②	虐待は行われていない	12	2			14
③	プライバシーが守られている	9	5			14
④	必要な方に成年後見制度を活用している					
⑤	適正な個人情報の管理ができている	10	4			14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・身体拘束や虐待は行っていない。やむを得ず必要な場合は、期間と時間を定めて家族に同意を得ている。 ・個人情報は事務所で保管・管理している。 ・成年後見制度は使用している方がいない。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
身体拘束・虐待、成年後見制度の研修は予定に取り込む。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 アミーゴ島根	代表者	百合澤 正志	法人・事業所の特徴	運営理念である「ゆったりと利用者様に寄り添い さりげない心遣いで 笑いにつなげよう」を常に心に置きながら、利用者様が安心して過ごせるよう努めている。また、温泉を利用し、ゆっくりと入浴して頂くことができる。
事業所名	大東ゆりさわ	管理者	落合 慶子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	2人	人	1人	1人	1人	3人	1人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	詳しく具体的な評価を行う。また、研修や勉強会を重ね、職員のスキルアップを図る。	研修は積極的に行うことができた。夜勤職員は夜間専門介護職員なので、日勤帯の様子がわからない。項目によってはわからない部分がある。	どのテーマにも共通しているが、出来ている人と出来ていないと答える人もいる。その差は何が原因なのだろうか。	・大事なテーマは繰り返し研修計画に挙げていく。 ・夜勤職員も日勤帯の活動を把握できるようにする。
B. 事業所のしつらえ・環境	推進会議に、事業所内の見学を取り入れる。また、面会者以外の方も自由に見学できるような機会を計画する。	見学を取り入れることができた。また、家族様にはアンケートをとり、ご意見をいただいた。	アンケート結果を見ても、いい施設だということが感じとれた。職員の対応もよく、不安がない。	家族様の面会や運営推進会議だけでなく、地域の方も自由に見学できる機会を工夫して計画する。
C. 事業所と地域のかかわり	交流センターや学校に出向いて、地域活動の情報を得る。	デイサービスセンターうしお湯治村との合同会議により、いろいろな情報を得ることができた。	見学も行きやすく、利用に繋がりがよくなっている。ただ、介護保険サービスを利用されたことがなく、不安を抱えておられる方には、利用前の訪問をして、利用に繋げてもらうといいと思う。	見学だけでは利用に踏み切れない方へは、事業所からも足を運び利用に繋げていく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者が事業所内だけの生活にならないように、積極的な地域活動計画を立てる。	外出行事をできる限り多く計画した。内容によっては家族様の協力を得ることもあった。	地域行事やイベントを適度に行っているようだが、一部の人になっている。	地域住民と関わる機会を設け、万遍なく活動に参加できるように計画を立てる。
E. 運営推進会議を活かした取組み	利用者や介護職員も運営推進会議に参加できるようにし、地域と関わりあうという意識を全職員が持つ。	職員の参加はできたが、利用者の参加が出来なかった。	サービス評価の質問の内容がよくわからない設問があり、きちんと評価することができていないかもしれない。	地域かかわりシートをわかりやすいように具体的な補足説明を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	地元の方にも訓練に参加して頂けるように計画を立てる。	今年度は、国内各地で高齢者施設における事件・災害が相次いだ。地元駐在所の協力を得て、不審者対応の研修は行うことができたが、非常災害対応が出来なかった。	緊急時の備蓄をそろえることも必要である。災害の種類によって避難場所や行動も異なってくる。	非常災害対応マニュアルを新しく作成したので、非常災害時の避難訓練を行う。

